

花園日本語学院 (私立) (ネパール：ポカラ)

西川敏彦 (京都府京田辺市)

滞在期間：2018年4月3日～5月31日

活動場所：ネパール ポカラ 花園日本語学院



教室での勉強風景

1. 花園日本語学院のこと

クラスが4つあります。

クラス1 (1カ月)	7:00 - 8:00	10人
クラス2 (3カ月)	8:30 - 9:30	8人
クラス3 (初心者)	14:00 - 15:00	0人
クラス4 (1カ月)	15:30 - 16:30	6人

クラス編制は、生徒たちの都合を考慮して追加され、変更される可能性があります。クラスの状況は、常に確認しておく必要があります。

開始時間や終了時間は、その時によりずれることはよくあります。ましてや雨季 (3月～8月) になると雨が降るので、生徒たち (バイクが多い) が来なくなることはよくあります。

また来なくても、欠席の連絡がないのは、この国では当たり前となっています。授業のときに欠席の連絡が必要と説明しているのですが、なかなか実行されていません。

どのクラスも初心者ばかりで、N5のテスト合格を目指しています。内容は非常に簡単ですが、教えるのには苦勞はつきものです。

生徒たちは19歳から26歳くらいの人ほとんどで、高校を卒業したか、もしくは大学で勉強中の若者たちです。

子供たちに何かいい職業についてもらいたいとい

う親の思いが、最近では非常に強くなってきて、借金をしてまで海外で子供たちに教育をと考えているため、ブームが来ています。

かれらの生活を考えるとかなりな金額になりますが、それでもブームが加熱するばかりです。もっとも、この国では、給与は低く、産業もないようなので、よりよい生活をするには魅力が乏しいようです。

あくまでも私はアシスタントであり、ラックスマン先生の邪魔にけっしてならないように注意をしながら、彼の指示のもとに動くように心がけました。

時折、彼のもとに親戚や元生徒たちが訪問することがあり、授業を私に託すこともあります。その際は、この時とばかりにハッスルしました。

授業内容については、先生に事前に指示をもらって行っています。そのときはとても楽しいです。1時間のあいだ何もせず授業を聞いているのはさすがに疲れます。

先生は、積極的に私に対して特別授業をしてくださいとは言わない方なので、こちらからコレコレをしたいのですがよろしいですか、というようにして尋ねるのがよいでしょう。

例えば日本文化の紹介などが一例です。提案内容により異なりますが、どういうふうに盛り込むかは先生に考えていただけます。ただし、授業が終わってからの10分程度ということがほとんどです。

私が実施提案したのは、日本の常識、方言、電車の乗り方、食事のマナー (箸の使い方を含む) についての講義をおもしろおかしく冗談を取り入れながら実施しました。

この学院の仕事として、アジア日本語学院 (福岡)、大和国際日本語学院 (奈良)、東京福祉大学 (名古屋) に生徒たちを留学させるべく送り込んでいます。つまり、書類作成をすることが大きな内容となります。実質的には日本語を教えることよりも、これが主な仕事内容ではないかと思います。

日本にある日本語学校によるインターネット面接試験が留学の半年前くらいにあるので、そのトレーニングをと、私に依頼がありました。

1週間程度、特別授業として、私から面接試験に聞かれるであろう内容を事前にコピーして渡して、何度も擬似試験の練習をしました。

生徒たちも、実際の日本人から手ほどきを受けるせいか真剣に勉強をしますので、とてもやりがいを感じているようです。

また、生徒たちは勉強の仕方そのものをよくわかっ

ていない人たちがばかりなので、そこまで突っ込んで教えるようにすると、家でも勉強をするようになり、大きく改善するようになりました。どこまで踏み込んで教えてよいのかは、全体の雰囲気を見て行うしかありません。

2. 住居環境のこと

私の考えを、到着した際に説明をしました。最初の1カ月は校長先生 Laxman Pahari 家にホームステイをし、あとの1カ月はゲストハウスに1人で生活をしたいと申し出ました。

先生の家族は4人です。奥様は、リタさんといいとても感じの良い方です。落ち着いていて、常に旦那によりそのような感じで、家に誰が来ても嫌な顔ひとつせず対応しているのが印象的です。

したがって、いろいろな人たちがよく出入りするかと、納得することがあります。

長男のサンガム君は17歳でまだ高校生です。私が、英語で話しかけても十分理解はできるのですが、私には積極的に話しかけてきません。

長女の14歳のサリーナちゃんも同じで、兄貴同様英語は多少話せるが、私にはどこかはずかしいのか、積極的に話しかけてきません。

春休みの間はぶらぶらして、近所にすむ甥っ子、



ネパールカレー
野菜とお肉とご飯の
ワンプレート

姪っ子たちの面倒をよく見るやさしいところがあります。ひょっとして私のような顔は威圧感があって、話しかけにくいかもしれません。

ホームステイの利点は、言葉や食事の準備、洗濯に困らないことです。こちらネパールの食事の時間は、一般的に、朝食10時半、昼食16時半、夕食20時頃で、毎食カレーです。

カレーの味付けの仕方は多少変わりますが、私はその違いはほとんどないと思っています。肉は、鶏肉かヤギ、多少の野菜が付け足されます。

但し、外国人の私にはたいへん気を使っていたいで、朝食には8時15分ころにパン、コーヒー、卵、果物を特別に用意していただくようになって随分ほっ

としました。そのため10時半の朝食をパスしてクラス2が9時半くらいに終わると、次のクラス3が始まる14時頃まで、昼の散歩をします。

外から帰るころに、もしくはクラス3が終わった頃に、私の昼食と思われる簡単なカップラーメンなどを出してもらっています。そのこともあって16時半の昼食を回避しています。

夕食の20時だけはみなさんと一緒にカレーを食べるようになりました。が、次第に一緒に食べることもなくなりました。

みなさんの食べる量が多いのでびっくりしますが、彼らにすると、私が食べる量の少なさに驚いているようです。

そんなに食べられないということ、毎食のカレーは耐えられないので自然と少なくなります。

おかげで5キロほど痩せましたので、得をしました。ネパールのカレーといっても日本のものとはかなり異なります。ご飯、カレー味のチキン、カレー味の野菜、ダルスープが出ます。このダルスープをご飯にかけながら、チキンや野菜と一緒に食べるのが通常ようです。

実は、そのうちに、このカレーも食べるのがつらくなり、奥様が別のものをつくってくれるようになりました。

やはり、毎日異なるものが食べたくになります。例えば、中華料理、日本料理、韓国料理、イタリア料理など先生の家の周りにはいろいろなレストランがあるだけに、とても恋しくなります。

こちらの料理はまずいことはありませんが、慣れていないせいもあって特別においしいというほどのものでもないで、毎日3食ネパール定食はしんどいです。

ただひとつだけすばらしいと思うことがあります。この家庭では、水に非常に注意を払っていて、お腹を壊すことはまったくありませんでした。水道水は信用できないからといって外部から綺麗な飲み水を手し、それを一度濾過（フィルター）させ、さらに煮沸させ、冷やしてから飲料水として家族全員に飲ませる気の使いようです。

一方、ゲストハウスの宿泊（後半の1カ月）となると、最低でも初級程度の英語が話せないとても不自由な生活が強いられますので、これもある程度の覚悟が必要です。

私はその点、問題なくいけるのでとても快適に過ごすことができましたが、お腹を壊すこと数回。おそらく外食が原因と思います。この時期はオフシーズンと



近所でバルーン
青と黄のバルーン

ということもあり、1泊1,000ルピーが相場です。繁忙期になるとこの2倍にはなるそうです。

今回は私自身の責任のもと、自分で探しました。先生はいつでも戻ってくるようにとお誘いは何度もありましたが、当初の予定通り進めてまいりました。

停電は短時間ですが頻繁にあります。家もゲストハ

ウスにも必ず2系統の電源があるので、あまり困ることはありませんが、停電の間インターネットが使えなくなります。

通常、携帯電話には、ライトがついているので、これがあれば安心です。そうでなければ100円ショップでライトを購入しておけば安心です。

授業のアシスタントをする合間、午前10時頃から午後2時までは自由な時間があり、この時間をどのように過ごすかがひとつの課題となります。

毎日ぶらぶらするのは退屈なので、私は近所の小学校、中学校へ直接訪問し、バルーンやマジックをしたいと申し出ると、どこも「いつでもどうぞ来てください。授業をやめて、あなたのために時間をあけます」と言って大歓迎されます。

あるいは、近所を散歩しているときの子供の集団、井戸端会議をしているおばさんたちを見つけると、その中に入り込んで話をします。バルーンがあれば会話を延々と続けることができます。

そのうちに、ゲストハウスから花園学院までの歩く途中では、いろいろな人に挨拶をするようになりました。めんどくさい

と感じることもありますが、やはり挨拶するのはいいものです。レストランで働く人たち、散髪屋のおじさん、旅行代理店の人たち、近所のおばさん、おじさんたちから私よりも先



学校でマジック
真剣なまなざしが初々しい

に挨拶をしてくれました。

3. 気候のこと

滞在したポカラは標高800mの高地ですが、思ったより涼しくありません。3月～8月は雨季で、夕方から朝方にかけて毎日雨が降ります。昼間に降ることは非常に少ないですが、出かけるときは必ず傘を持っています。4月には、4日続けて大粒の雹（ひょう）が同じ時間（夕方4時ころ）に降ったこともありました。

朝方は20℃～23℃くらいで比較的涼しく、寝るときは長袖のパジャマが必要です。昼間は、25℃～33℃くらいまで上がるので、私の場合、暑がりですので半袖のポロシャツで間に合っています。うちわとタオルは私にとっては必携品です。

トレッキングには1時間ほど車でいったところから、歩いて1時間半ほど上り坂を行けばダンプスという村に到着します。おおよそ1,400mくらいの標高です。

ここはさすがに肌寒くなるので長袖は必須です。朝方は15℃くらい、昼間は25℃くらいです。トレッキングシューズを持参したほうがいいです。ガイドさんやラックスマン先生などは普通のズック靴で歩きますが、真似をしないほうがいいですね。

ポカラへ来たら一度はトレッキングすることが、お勧めです。なんといってもネパール最大の観光の目玉です。

現在はオフシーズンなので、ホテルは予約なしでも可能です。シーズンに入ると世界各国からトレッカーが来るので、予約が絶対必要となります。なるべく早く予定を立てることが肝要です。



山と人家と畑
トレッキング中の風景

4. 終わりに

最後にこの滞在期間中、事件に巻き込まれたり、怪我したことはなかったことを付け加えておきます。

葭江様に、これまでこの学校との準備に多くの時間を費やされていたと聞いております。感謝申し上げます。ポカラは安全でのんびりした街です。ぜひ、引き続きほかの日本人の方がポカラへ来られることを望みます。